

人と人をつなぐAIを目指して

ーぼっちにさせない情報と技術ー

なぜ人と人をつなぐAIを目指すのか

AI時代の人つなぎ
伝統的地域ネットワーク援用の
可能性

AI時代の
「個人と地域コミュニティ」の関係

2019年6月26日(水) 18:30-20:00

名古屋工業大学 Nitech Hall 2階 ラーニングコモンズ



■ 白松 俊

名古屋工業大学 情報工学 知能情報分野 准教授。Code for Nagoya 名誉代表。

AIの要素技術(自然言語処理やLinked Open Data等)を活用して人々のコラボレーションを支援する技術の研究に従事。特に市民がITを活用して課題解決に挑むシビックテック活動に関心を持ち、Code for Nagoya等で活動中。京都大学大学院情報学研究所博士課程修了、博士(情報学)。



■ 和崎 宏

インフォミーム株式会社代表取締役。関西学院大学総合政策学部非常勤講師。

阪神淡路大震災で情報ボランティアを体験した後、学校に校内LANを敷設する市民活動「ネットデイ」のモデル化に成功。地域SNS「ひよこむ」の運営管理を担う。平成16年度地域づくり総務大臣表彰、日経地域情報化大賞2008(グランプリ)を受賞。総務省地域情報化アドバイザー。



■ 庄司昌彦

武蔵大学社会学部教授(グローバル・データサイエンスコース)、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主幹研究員。

内閣官房オープンデータ伝道師、総務省地域情報化アドバイザー、仙台市情報アドバイザーなども務めている。2006年から「地域SNS研究会」を主宰。研究テーマは情報社会学、地域情報化、電子行政、社会イノベーションなど。

超高齢社会において人と人のつながりの重要性は増えています。しかし地域コミュニティの衰退は止まりません。この問題をAIを活用して解決する方法を考えます。

日本人が培ってきた「伝統的地域ネットワーク」の社会技術とAI時代の科学技術を融合させて適用する可能性について、和崎宏氏(インフォミーム株式会社代表取締役)にお話をいただきます。さらに庄司昌彦氏(武蔵大学社会学部教授)より、情報社会学の観点から「個人と地域コミュニティ」を解説いただきます。



【主催】

名古屋工業大学

コミュニティ創成教育研究センター



【共催】

名古屋工業大学

Nitech AI研究センター

■お申込み方法：下記書式にて「氏名、所属、連絡先」を記載の上お申し込みください(6/25締切)。

【申込】HPの申込フォームをお願いします。

<http://community.web.nitech.ac.jp/>

【問合せ】community-c@lab-ml.web.nitech.ac.jp

※資料準備の都合上、事前申し込みにご協力ください。いただいた個人情報は、当センターの情報提供に使わせていただきます。

